

令和6年度の排出実績及びごみ減量に係る取組み並びに令和7年度減量計画にお答えください。(全4ページ)

令和6年度 廃棄物排出実績							
ごみの 分別区分	廃棄量 (単位:トン)		資源化量 (単位:トン)		廃棄物処理(直接事業者を記入してください)		再生資源化 処理事業者
					収集運搬業者	処分業者	
新聞紙		t		t			
雑誌		t		t			
段ボール		t		t			
OA用紙		t		t			
飲料用紙パック		t		t			
食品用トレイ		t		t			
その他の紙くず		t		t			
生ごみ		t		t			
厨芥		t		t			
木くず		t		t			
繊維くず		t		t			
その他の可燃ごみ		t		t			
空き缶		t		t			
空きびん		t		t			
ペットボトル		t		t			
		t		t			
		t		t			
		t		t			
合計		t		t			

令和6年度にごみの分別、減量、資源化の推進のために取り組んだこと (複数回答可)	
取組の内容	チェックボックス (該当する取組に「✓」を付けてください)
分別の徹底による資源化率向上に努めている	
専用の回収ボックスを設置している	
再使用や再利用に努めている	
再資源化のため、適切な保管方法で保管している	
リサイクル事業者メーカーまたは販売店に回収を依頼している	
電子化により発生量の削減に努めている	
梱包の簡素化や省略に努めている	
廃棄物の水分を抜いている	
在庫管理や発注量の見直しによりロスを削減している	
建物内の各テナントや従業員に指導を徹底している	
その他の取組み (以下の空白に内容を記載してください)	

令和6年度のごみの減量及び資源化への課題、問題点等 (複数回答可)	
取組の内容	チェックボックス (該当する取組に「✓」を付けてください)
年末や年度末など一時期に排出が集中し、保管の許容量を上回る	
個人情報などが記載されているため、シュレッダーしなければならず再資源化できない	
汚れたごみが混ざり、再資源化率が減少する	
手選別が必要になる場合など、再資源化に手間がかかる	
事業の拡大や従業員の増加により排出量が増えた	
ごみ置き場が狭く、分別スペースを確保できない	
再資源化するためのコストが大きい	
ごみの性質や事業内容により発生の抑制が難しい	
その他 (以下の空白に内容を記載してください)	

令和7年度 廃棄物減量計画

ごみの 分別区分	廃棄量 (単位:トン)		資源化量 (単位:トン)		廃棄物処理(直接事業者を記入してください)		再生資源化 処理事業者
					収集運搬業者	処分業者	
新聞紙		t		t			
雑誌		t		t			
段ボール		t		t			
OA用紙		t		t			
飲料用紙パック		t		t			
食品用トレイ		t		t			
その他の紙くず		t		t			
生ごみ		t		t			
厨芥		t		t			
木くず		t		t			
繊維くず		t		t			
その他の可燃ごみ		t		t			
空き缶		t		t			
空きびん		t		t			
ペットボトル		t		t			
		t		t			
		t		t			
合計		t		t			

令和7年度にごみの分別、減量、資源化の推進のために取り組む予定のもの
(複数回答可)

取組の内容	チェックボックス (該当する取組に「✓」を付けてください)
昨年度の取組を継続して行っていく (昨年度から取組み内容に変更ない場合は、以下の回答は不要です。)	
分別の徹底による資源化率向上に努めている	
専用の回収ボックスを設置している	
再使用や再利用に努めている	
再資源化のため、適切な保管方法で保管している	
リサイクル事業者メーカーまたは販売店に回収を依頼している	
電子化により発生量の削減に努めている	
梱包の簡素化や省略に努めている	
廃棄物の水分を抜いている	
在庫管理や発注量の見直しによりロスを削減している	
建物内の各テナントや従業員に指導を徹底している	
その他の取組み (以下の空白に内容を記載してください)	